



～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【令和8年の仕事が本格的にスタート・・・】

今年の年明けは、昨年に比べて雪が多く、雪かきの回数も多くなり、加えて正月明けの連休後は厳しい寒さが続きました。

連日の雪かきで町民の皆さまもお疲れのことと存じますが、十分注意をして除雪作業を行ってください。

子どもたちも冬休みが終わり雪の中を元気に通学する姿が見えるようになりました。

寒さに負けないで頑張れ“福島っ子”

1月11日(日)に、吉岡船魂祭と福島船魂講が吉岡八幡神社と福島大神宮で行われ、参加をさせていただきました。今年一年の安全操業と豊漁をご祈念させていただき、漁業者の方々から昨年の浜の状況などを聞くことができました。

漁業者からは、昆布とウニは良かったけど、イカとマグロが厳しかったという声をいただきました。今年の豊漁を期待するものであります。

福島吉岡漁業協同組合の「組合だより」を拝見しますと、令和7年の浜の状況は養殖昆布およびウニの生産が大幅に伸び、総体的に順調な1年だったような感じがしております。

前浜全体の生産額が14億に達し、対前年比で2億3千万円(20%)の増加となっております。

また、計画額との対比では、4億円(約40%)の増加となっております。

好調な要因として、温暖化の影響による高水温などで道東方面の天然昆布などの不良により高値が続いたことが考えられております。

当町は、養殖昆布施設など先人たちが築き上げてきた、つくり育てる漁業の基盤整備がようやく花を咲かせたような気がしており、改めて先人達の労苦に感謝を申し上げたいと思います。

1月24日(土)に、吉岡総合センターにおいて吉岡小学校の「吉小ふるさとを食べる集会」にお招きをいただき、子どもたちが作った千軒そばを美味しくいただきました。

子どもたちはそばの会の皆さまのお手伝いをいただきながら懸命に心を込めてそばを打ち、少し太めの麺でしたが風味が強く大変良かったです。

また、接客も一生懸命頑張っておりました。子どもたちには良い体験・経験になったものと感じております。お手伝いをいただきましたそばの会や父兄の皆さまありがとうございました。

1月25日(日)に、東京の浅草ビューホテルで開催された九重部屋千秋楽パーティーに参加をし、九重親方や千代翔馬などの力士とお会いすることができ、九重親方に今年の8月の夏合宿の実施を要請してまいりました。

九重親方からはぜひ、今年は訪問したい旨のお言葉をいただき、力士たちも夏に行われる福島町での合宿を楽しみにしているとの声を多くいただきましたので、夏に向けてしっかり準備を進めてまいります。町民の皆さまも楽しみにしてください。

また、その際は力士たちに励ましの声をおかけください。

2月10日(火)に札幌のホテルポールスター札幌において、北海道土木研究会の主催による「2026 トンネル技術研究会」が開催され、第2青函トンネル構想の関連で参加をさせていただきました。

町民の夢、念願であります第2青函トンネル構想が少しずつではありますが各方面で動き始めております。実現に向けて声と活動を継続していくことが実現のために大切です。